

ぽっかぽか うさぎ組 10月

暑い暑い夏も過ぎ、過ごしやすい季節となりました。今年はコロナウィルスの影響でマスクを着用していることがほとんどですが、時折外してみると秋の風に乗って金木犀の香りがし、季節の移り変わりを実感できます。時間が経つのは早いもので、あっという間に10月。うさぎ組として過ごすのも残り半年となりましたが、引き続き子ども達のよりよい成長に向けて援助していきます(*^^*)

今月のぽっかぽかでは9月に行った保護者懇談会の内容を改めて振り返り、クラスとしてのねらいや子ども達の成長、幼児に向けての取り組みなどを伝えたいと考えています。保護者懇談会に参加した方も参加できなかった方も目を通して参考にいただければ幸いです。

～ 2才見って…、どんな感じ？ ～

- ・1歳の頃に比べ、できることが増えてくる。
- ・自分でやろうとする気持ちもさらに出てくる。
- ・でもできないことももちろんあって、できないと癇癪を起すこともある。
- ・周りの様々なことに興味を持ち、自分の世界が少しずつ広がり始める。
- ・世界が広がることで周りの友達にも興味を持ち、一緒に遊びたい気持ちが強くなる。
- ・2, 3人の友達と一緒に遊ぶことができるようになってくる。ただまだ自分が中心に考えている(笑)
- ・友達と思うように関われないことも多く、言葉でうまく伝えられないことから、手がでることや、噛みつきがでることもある。……などなど

上に挙げた点は4月のぽっかぽかに載せました。もしかしたらご家庭でも「確かに！」と思う場面に出会うことがあるのではないのでしょうか？その中でクラスでは大きなねらいを持って日々の保育をしています。

～ 2才見クラスのねらい ～

- ・**基本的生活習慣の積み重ねを援助する**
自分でできること、やろうとすることを大切に
- ・**人間関係の広がりへの援助をする**
周りの大人や友達へ興味を持ち、関わる中で様々な経験をする

1つめの「**基本的生活習慣の積み重ねを援助する**」ことですが、0才、1才でも人間関係や食事、排泄に着脱、清潔と様々な生活の場面の中で丁寧に援助することで、できることも少しずつ増えてきました。そこから引き続き積み重ねていくと共に、子どものできることは子どもがする、そしてやろうとする姿勢や気持ちをしっかりと受け止めながら日々の保育に取り組んでいきたいと考えています。

2つめは「**人間関係の広がりへの援助をする**」です。2才から3才になるこの時期は、周りの環境にも興味が広がってきます。その中で身近な友達の存在はとてもよい刺激となります。もちろん初めから上手に関わって遊ぶことができるわけではなく、友達との関わりの中でいろいろなことを経験して身に付けていきます。例えば友達が使っている玩具に興味を持ち、使いたくなったときに勝手に取るとトラブルになりがちです。そこで「〇〇くんはこの玩具で遊びたかったと思うんだけど、今は〇〇ちゃんが使っているから「貸して」って聞いてみようか？」や「一緒に遊ぼうって聞いてみよう」といったように本人の気持ちを受け止めながら、今の状況や相手の気持ちも丁寧に伝えることで、少しずつ関わり方にも変化がでてきます。そういった子ども達の関係性の広がりを丁寧に援助していくことを大切にしていきたいと考えています。

友達との関わり ～ 並行遊び ～

友達との関わりが増える中で、「ウチの子、友達と仲良く遊んでいるのかな？」と心配になる方もいらっしゃると思います。そこで参考にして頂きたいのが年齢的な発達段階の上での子ども達の遊び方です。それは**並行遊び**といえます。簡単に説明すると、一見、仲良く一緒に遊んでいるように見える2人が、よく見てみるとお互い別の玩具で1人で遊んでいるといった姿です。これは決しておかしい様子でもなく、友達に興味が出てきつつ、まだ1人でじっくりと遊ぶことが楽しいということです。ここから少しずつ一緒に積木をしたり、ままごとで遊んだり、遊び方も広がってきます。ですから「誰と遊んだ？って聞いても全然友達の名前が出てこないんです…」と心配なさらなくても、「今はまだじっくりと遊びたいんだな」と考えて頂ければよろしいかと思います。もちろん心配なことは直接担任まで聞いて頂いて構いませんので、いつでもお気軽にどうぞ!!(*^-^*)

トイレトレーニングについて

最近の子ども達の様子を見ると、トイレで排泄が成功する子も増え、自立に向けて1つ1つ進んでいると感じます。もちろん早くオムツが取れることに越したことはありませんが、子どもの様子を見ながら焦らずに進めていくことが大切です。排尿の間隔が長くなってきた、自分で出たことを伝えてくるようになった、布パンツに興味を持つようになったといった姿が見られるようになってきたら、少しずつオムツから布パンツへの移行を考えてみていいかもしれません。そんな姿が見られたときはぜひクラスにもお伝えください!!もちろん園での様子もしっかりと伝えていきますので、一緒に共有して協力しながらトイレトレーニングを進めていきましょう(*^^*)



幼児に向けて ～ 自立に向けた援助 ～

冒頭にもお伝えしたように、あと半年後には幼児クラスへ進級となります(*_*)今まで以上に自分でできることも増え、様々な場面で成長が見られると思います。その中で生活の中で自分のことは自分でできることや、やろうとすることはとても大切なことの1つになってきます。今の子ども達の姿を見ても、例えば洋服を脱ごうとするときに「ぼくがやる！」と自分でやろうとしたり、ハサミの使い方などまだまだ難しいことにも一生懸命取り組む姿が見られます。そんな子ども達の気持ちをしっかりと受け止め、自分でできる所はもちろん、難しいことに取り組んでうまくいかないときには悔しい気持ちを汲み取りながら援助し、その中でできたことの達成感が自信に繋がっていくように丁寧に寄り添っていきたく思います。

ご家庭でも休みの日など、時間に余裕があるときは子どもが自分でできることや自分からやろうとする姿を見てぜひ褒めてあげてください(^_^)きっとそこからまた子ども達のやる気がさらに湧き出てくると思います♪

